

# 金融商品の時価開示対応パッケージ 「BancMeasure」のご案内

新日鉄住金ソリューションズ株式会社  
金融ソリューション事業本部



# 金融商品の時価開示対応パッケージ「BancMeasure」

企業会計基準委員会（ASBJ）より「金融商品に関する会計基準」（改正企業会計基準第10号）及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号）が平成20年3月10日に公表され、金融商品会計が改正されることになりました。

金融商品の時価等に関する注記の範囲が現行制度では有価証券及びデリバティブに限定されていますが、今回の改正では金融商品全体に拡大され、平成22年3月31日以後終了する事業年度の年度末（四半期開示は翌事業年度）から貸出金や預金等に至るまで時価の開示が求められます。

新日鉄住金ソリューションズでは、今般の金融商品の時価開示に対応した **BancMeasure** を地域金融機関様向けに販売を開始いたします。

# パッケージ概要

BancMeasureは、企業会計基準適用指針第19号「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（H20.3.10）で求められる金融商品の時価等に関する事項の注記のうち、主に市場価格の存在しない貸出金や預金等について理論時価および評価差額を計算することを目的としています。

オプション性の無い市場価格のある債券や店頭デリバティブについてもBancMeasureに約定データを投入すれば、参考価格としての理論時価を計測することが可能です。

## 対応可能商品

### ▶市場時価の存在しない金融商品

#### <資産>

- ・貸出金、私募債等

#### <負債>

- ・預金、社債、劣後債等

### ▶市場価格の存在する金融商品（参考価格）

#### <オンバランス>

- ・債券  
（仕組債、15年変動利付国債等を除く）

#### <店頭デリバティブ>

- ・金利スワップ
- ・通貨スワップ等

# 対応機能

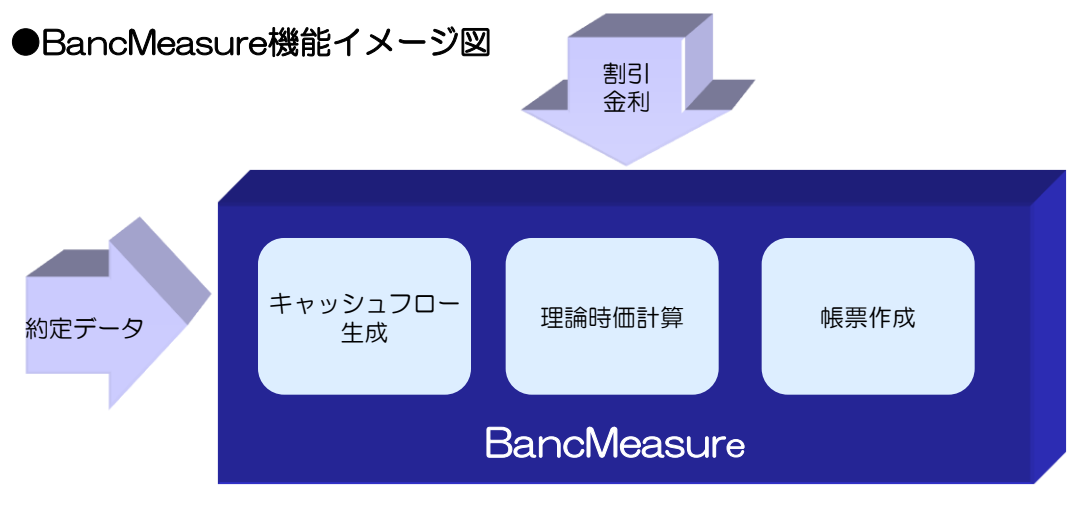
時価開示適用指針では原則、金融商品に関する貸借対照表の科目ごとに、貸借対照表計上額、貸借対照表日における時価及びその差額の注記が求められます。加えて、金融債権及び満期のある有価証券（売買目的を除く）については償還予定額、有利子負債については返済予定額の合計額を一定の期間に区分した金額を注記する必要があります。

BancMeasureではこれらの開示要件に対応した各種機能を搭載しております。

## BancMeasure機能

- ▶ 明細単位のキャッシュフロー生成機能
- ▶ 理論時価、評価差額計算機能
- ▶ 住宅ローン等の期限前償還対応
- ▶ 帳票作成機能
- ▶ データ蓄積機能

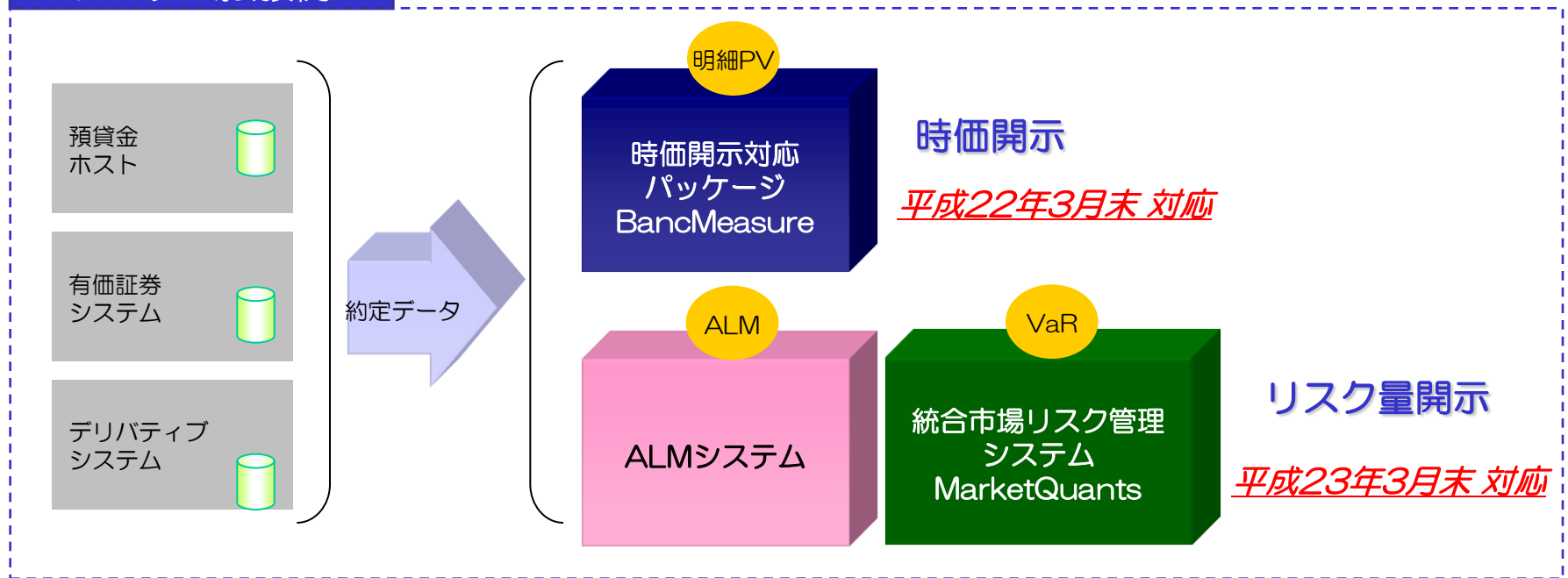
### ● BancMeasure機能イメージ図



# システム拡張性

時価開示対応パッケージ「BancMeasure」と統合市場リスク管理システム「MarketQuants/マーケットクオンツ」を併せてご導入いただければ、時価開示と平仄のとれたリスク量開示が可能となります。

## システム拡張例



※MarketQuants /マーケットクオンツは弊社が独自開発した市場リスク管理専用のパッケージシステムで、分散共分散法、ヒストリカル法に対応しています。預貸金と市場性商品の市場リスクを統合管理することができます。

# 新日鉄住金ソリューションズ株式会社



**NS Solutions**

- NS（ロゴ）、NS Solutionsは、新日鉄住金ソリューションズ株式会社の登録商標です。
- MarketQuants /マーケットクオンツは、新日鉄住金ソリューションズ株式会社の登録商標です。
- BancMeasureは、新日鉄住金ソリューションズ株式会社の商標です。

